



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 宝ホールディングス株式会社

コード番号 2531 URL <http://www.takara.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 柿本 敏男

問合せ先責任者 (役職名) 財務・IR部長

(氏名) 掛見 卓也

TEL 075-241-5124

四半期報告書提出予定日 平成25年8月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	46,953	△0.8	△241	—	20	△98.2	△86	—
25年3月期第1四半期	47,349	△3.1	1,061	△36.2	1,156	△38.7	△90	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 2,364百万円 (120.5%) 25年3月期第1四半期 1,072百万円 (2.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△0.43	—
25年3月期第1四半期	△0.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	205,847	114,956	48.7
25年3月期	207,586	114,318	48.2

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 100,205百万円 25年3月期 100,040百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	9.00	9.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	96,300	0.6	2,000	△31.0	2,000	△30.4	850	109.6	4.19
通期	206,300	2.6	9,200	0.7	9,400	1.1	4,900	4.5	24.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	217,699,743 株	25年3月期	217,699,743 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	14,839,810 株	25年3月期	14,833,716 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	202,862,913 株	25年3月期1Q	205,419,492 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成25年5月9日発表の連結業績予想の見直しは行っておりません。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

○第1四半期決算短信補足資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、期待先行による好況感の一方で、株価や為替の変動が激しい不安定な状況でありました。

このような環境のなか、当社グループでは、長期経営ビジョン「TaKaRaグループ・ビジョン2020」の実現へ向け、「国内での安定成長を実現するとともに、海外で大きく成長するための事業基盤を拡大する」ことを基本方針とする3カ年の中期経営計画「TaKaRaグループ中期経営計画2013」のもと、環境変化に強いバランスのとれた事業構造を構築することで、更なるグループ企業価値の向上を目指しております。

国内酒類事業においては、多様化する消費者嗜好に対応したオリジナリティある新製品の開発やブランド育成に注力し、また調味料・酒精事業においても顧客企業に対し、差別化されたユーザーニーズに応える商品提案を行うことにより、売上高の拡大を図っております。

海外酒類事業、日本食材卸事業では、両事業を通じて日本食文化を世界に広げることによって事業成長を加速させることを目指しております。

バイオ事業では、遺伝子工学研究事業、遺伝子医療事業、医食品バイオ事業の3つの領域に経営資源を集中し、業績の向上に努めました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、主力の焼酎が大きく減収となったことから、円安による海外子会社の売上の増加があったものの、前年同期比99.2%の46,953百万円となりました。また、売上高の減少にも関わらず売上原価は増加したため、売上総利益は前年同期比95.1%の17,382百万円となりました。

販売費及び一般管理費は、人件費などの増加により前年同期比102.4%の17,624百万円と増加いたしましたので、前年同期の1,061百万円の営業利益から241百万円の営業損失となりました。営業外損益は、前年の為替差損が為替差益に転じたこと、社債発行費がなくなったことなどにより若干改善いたしました。経常利益も前年同期比1.8%の20百万円と大幅な減益となりました。

特別損益は、前期は投資有価証券評価損があったため、前年同期に比べ大幅に改善いたしました。税金等調整前四半期純利益は前年同期比2.2%の9百万円となり、四半期純損失は86百万円となりました。

セグメントの業績の概要は次の通りであります。

[宝酒造グループ]

当四半期の品種別売上は、主力の焼酎が大幅に減収となったほか、清酒も減収となったため、新製品の寄与があったソフトアルコール飲料が増収となり、海外子会社のウイスキーが好調に推移いたしました。酒類全体では減収となりました。また、その他に含まれる日本食材卸事業が、円安の影響も含め大幅に増収となりましたが当セグメント全体では前年同期比99.3%の41,978百万円と若干の減収となりました。

売上原価は、原材料の価格上昇や、商品構成の変化による原価率の上昇により、前年同期比100.8%の27,242百万円と増加したため、売上総利益は前年同期比96.5%の14,735百万円となりました。販売費及び一般管理費も人件費等の増加により、前年同期比101.3%の14,869百万円となったため、セグメント営業損益は134百万円の営業損失となりました。

[タカラバイオグループ]

当四半期の売上高は、遺伝子工学研究事業における研究用試薬が前年同期を上回り、遺伝子医療事業も好調に推移したこと等により、前年同期比101.6%の4,170百万円となりました。売上原価は、品目別の原価率の違いにより原価率が悪化し、前年同期比126.0%の1,977百万円となりましたので、売上総利益は、前年同期比86.5%の2,192百万円となりました。販売費及び一般管理費は、人件費および研究開発費等の増加により、前年同期比108.1%の2,551百万円となりましたので、セグメント営業損益は358百万円の営業損失となりました。

[宝ヘルスケア]

当四半期の売上高は、茶飲料PB供給事業の終了により前年同期比53.1%の292百万円と大幅な減収となりました。なお、健康食品では主力のフコイダン関連製品は増収となりましたが、その他が減収となったため、健康食品での比較でも、前年同期比93.3%と減収となっております。売上の減少により売上総利益も減少し、販売費及び一般管理費は前期並みとなったため、セグメント営業損益は前年同期より悪化し39百万円の営業損失となりました。

[その他]

報告セグメント以外のその他のセグメントの売上高は前年同期比96.3%の1,663百万円となり、営業利益は前年同期比67.9%の31百万円となりました。

品種別販売実績

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	前年同期比
品種	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
宝酒造グループ			
焼酎	18,233	16,484	90.4
清酒	4,046	3,910	96.6
ソフトアルコール飲料	6,278	6,903	110.0
その他酒類	2,677	2,962	110.6
酒類計	31,235	30,261	96.9
本みりん	3,411	3,330	97.6
その他調味料	1,845	1,952	105.8
調味料計	5,257	5,282	100.5
原料用アルコール等	1,666	1,670	100.2
物流	2,593	2,811	108.4
その他	1,539	1,952	126.9
計	42,291	41,978	99.3
タカラバイオグループ	4,104	4,170	101.6
宝ヘルスケア	551	292	53.1
その他	1,728	1,663	96.3
事業セグメントに配分していない 収益およびセグメント間取引消去	△1,327	△1,151	—
合計	47,349	46,953	99.2

(注) 販売金額には酒税を含んでおりますが、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、余資の運用としての有価証券の減少などにより流動資産が4,160百万円減少し、建設仮勘定の増加などにより固定資産が2,421百万円増加したため、前連結会計年度末に比べ1,738百万円減少し、205,847百万円となりました。なお、有価証券の減少は主として社債の償還による支出によるものであります。

負債合計は、社債の償還などにより流動負債が2,549百万円減少し、固定負債は173百万円増加したため、前連結会計年度末に比べ2,376百万円減少し、90,891百万円となりました。

純資産合計は配当金の支払いによる利益剰余金の減少がありましたが、円安による為替換算調整勘定のマイナスの減少などにより、前連結会計年度末に比べ638百万円増加し、114,956百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、減収、営業利益、経常利益で減益となっておりますが、全体としては期初の計画通り進捗しております。従って平成25年5月9日に公表した平成26年3月期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間、通期ともに見直しを行っておりません。

なお、当社子会社であるタカラバイオ株式会社(コード番号4974 東証マザーズ)は、平成25年5月9日に公表した同社平成26年3月期の第2四半期連結累計期間の業績予想を、本日修正しております。詳細につきましては同社の開示資料をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,789	38,091
受取手形及び売掛金	50,630	50,535
有価証券	15,260	6,256
商品及び製品	21,773	24,166
仕掛品	1,090	1,250
原材料及び貯蔵品	2,841	2,802
その他	4,982	6,102
貸倒引当金	△82	△81
流動資産合計	133,285	129,124
固定資産		
有形固定資産	42,639	43,812
無形固定資産		
のれん	3,767	3,926
その他	1,659	1,694
無形固定資産合計	5,426	5,621
投資その他の資産		
投資有価証券	21,080	21,920
その他	5,364	5,575
貸倒引当金	△209	△206
投資その他の資産合計	26,235	27,289
固定資産合計	74,301	76,722
資産合計	207,586	205,847
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,028	13,101
短期借入金	5,006	5,145
1年内償還予定の社債	5,000	—
未払酒税	9,907	11,718
未払費用	4,698	4,703
未払法人税等	1,996	523
賞与引当金	1,980	3,118
その他の引当金	1,753	1,984
その他	6,023	6,548
流動負債合計	49,394	46,844
固定負債		
社債	25,000	25,000
長期借入金	417	410
退職給付引当金	8,845	8,737
長期預り金	5,626	5,634
その他	3,983	4,265
固定負債合計	43,873	44,046
負債合計	93,268	90,891

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,226	13,226
資本剰余金	3,195	3,195
利益剰余金	90,437	88,524
自己株式	△8,355	△8,361
株主資本合計	98,503	96,584
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,599	5,087
繰延ヘッジ損益	16	127
為替換算調整勘定	△3,079	△1,594
その他の包括利益累計額合計	1,537	3,620
少数株主持分	14,277	14,751
純資産合計	114,318	114,956
負債純資産合計	207,586	205,847

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	47,349	46,953
売上原価	29,075	29,570
売上総利益	18,273	17,382
販売費及び一般管理費	17,212	17,624
営業利益又は営業損失(△)	1,061	△241
営業外収益		
受取配当金	185	186
その他	187	213
営業外収益合計	372	400
営業外費用		
支払利息	136	114
社債発行費	76	—
その他	64	23
営業外費用合計	278	138
経常利益	1,156	20
特別利益		
持分変動利益	—	29
その他	24	3
特別利益合計	24	33
特別損失		
固定資産除売却損	40	19
役員退職慰労金	—	24
その他	704	0
特別損失合計	745	44
税金等調整前四半期純利益	434	9
法人税、住民税及び事業税	840	684
法人税等調整額	△389	△540
法人税等合計	450	144
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△15	△134
少数株主利益又は少数株主損失(△)	74	△47
四半期純損失(△)	△90	△86

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△15	△134
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△578	486
繰延ヘッジ損益	△5	112
為替換算調整勘定	1,653	1,781
持分法適用会社に対する持分相当額	18	117
その他の包括利益合計	1,088	2,498
四半期包括利益	1,072	2,364
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	654	1,995
少数株主に係る四半期包括利益	417	368

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造 グループ	タカラバ イオグル ープ	宝ヘルス ケア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	42,122	3,966	550	46,639	600	47,240	109	47,349
セグメント間の内部 売上高又は振替高	169	138	1	309	1,127	1,436	△1,436	—
計	42,291	4,104	551	46,948	1,728	48,676	△1,327	47,349
セグメント利益又は損 失(△)	585	175	△7	754	45	799	261	1,061

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、印刷事業などの機能会社グループであります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した不動産賃貸収益であります。

(2) セグメント利益又は損失は、セグメント間取引消去43百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益218百万円であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造 グループ	タカラバ イオグル ープ	宝ヘルス ケア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	41,892	4,092	292	46,277	570	46,847	105	46,953
セグメント間の内部 売上高又は振替高	85	77	0	164	1,093	1,257	△1,257	—
計	41,978	4,170	292	46,441	1,663	48,104	△1,151	46,953
セグメント利益又は損 失(△)	△134	△358	△39	△532	31	△501	259	△241

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、印刷事業などの機能会社グループであります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した不動産賃貸収益であります。

(2) セグメント利益又は損失は、セグメント間取引消去71百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益187百万円であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。